

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

# 2018年度第3四半期 決算説明会

(2018年4月1日 ~ 2018年12月31日)

2019年2月4日  
取締役 常務執行役員  
田原 永三

# 2018年度第3四半期 決算概要

## 2018年度第3四半期 決算概要

売上収益は、ラジカヴァの寄与があったものの、薬価改定の影響などにより減収  
販管費は減少したが、研究開発費の増加があり、コア営業利益は減益

	2018年度	2017年度	増減		通期予想	進捗率
	第3四半期	第3四半期	億円	%	億円	%
売上収益	3,324	3,393	68	2.0	4,350	76.4
（国内売上収益）	2,364	2,553	189	7.4	3,047	77.6
（海外売上収益）	960	839	+ 121	+ 14.4	1,302	73.8
海外売上比率	28.9%	24.7%			29.9%	
売上原価	1,392	1,342	+ 49	+ 3.7	1,760	79.1
売上原価率	41.9%	39.6%			40.5%	
売上総利益	1,932	2,050	118	5.8	2,590	74.6
コア営業利益	555	697	141	20.3	700	79.4
営業利益	564	684	120	17.6	670	84.2
四半期利益（親会社帰属）	414	521	106	20.4	470	88.2

期中平均レート（米ドル）

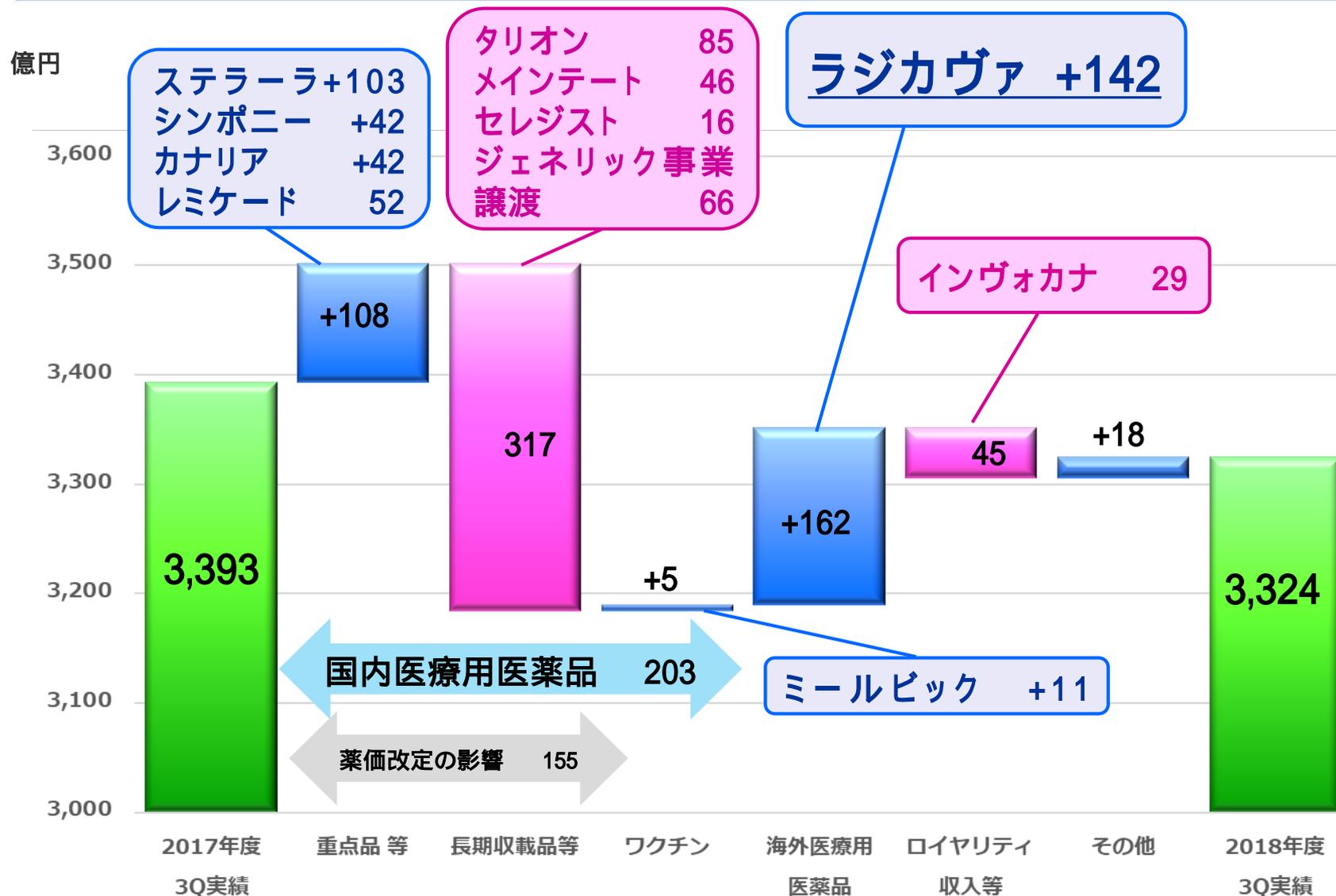
111.33円

111.77円

105.00円

※通期予想：2017年度決算発表時（2018年5月9日）公表

# 売上収益の増減



\* 今回よりタリオンを重点品から除外しました

## 売上原価・販管費・コア営業利益

薬価改定の影響、品目構成の変化等により、売上原価率は上昇

販管費は減少したが、後期開発ステージの進展等による研究開発費が増加し、コア営業利益は減益

	2018年度	2017年度	増減		通期予想	進捗率
	第3四半期	第3四半期	億円	%	億円	%
売上収益	3,324	3,393	68	2.0	4,350	76.4
売上原価	1,392	1,342	+ 49	+ 3.7	1,760	79.1
売上原価率	41.9%	39.6%			40.5%	
売上総利益	1,932	2,050	118	5.8	2,590	74.6
販管費	731	776	44	5.7	1,010	72.5
研究開発費	619	561	+ 57	+ 10.3	845	73.3
製品に係る無形資産償却費	22	17	+ 4	+ 28.0	30	73.4
その他損益*	3	0	4	-	5	-
コア営業利益	555	697	141	20.3	700	79.4

\*費用・損失の場合に と表示

※通期予想：2017年度決算発表時（2018年5月9日）公表

	2018年度	2017年度	増減		通期予想	進捗率
	第3四半期	第3四半期	億円	%	億円	%
コア営業利益	555	697	141	20.3	700	79.4
非経常項目*	8	12	+ 20	-	30	-
営業利益	564	684	120	17.6	670	84.2
金融収益	9	20	10	51.1		
金融費用	8	2	+ 6	+ 244.6		
四半期利益（親会社帰属）	414	521	106	20.4	470	88.2

\*費用・損失の場合に と表示

※通期予想：2017年度決算発表時（2018年5月9日）公表

# 開発パイプラインの進捗

# 主な開発パイプラインの進捗状況

2018年度第2四半期決算発表以降の進捗状況

2019年2月4日現在

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
MCI-186 ラジカヴァ(エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症:ALS)	スイス					

## 導出品

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
TA-7284*1 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (心血管疾患の既往がある2型糖尿病 における脳・心血管死、非致死性心筋 梗塞及び非致死性脳卒中の複合リスク の低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国					
FTY720*2 イムセラ/ジレニア (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的ア ンタゴニスト (小児・多発性硬化症)	欧州					

\*1 ヤンセンファーマシューティカルズ(米)へ導出

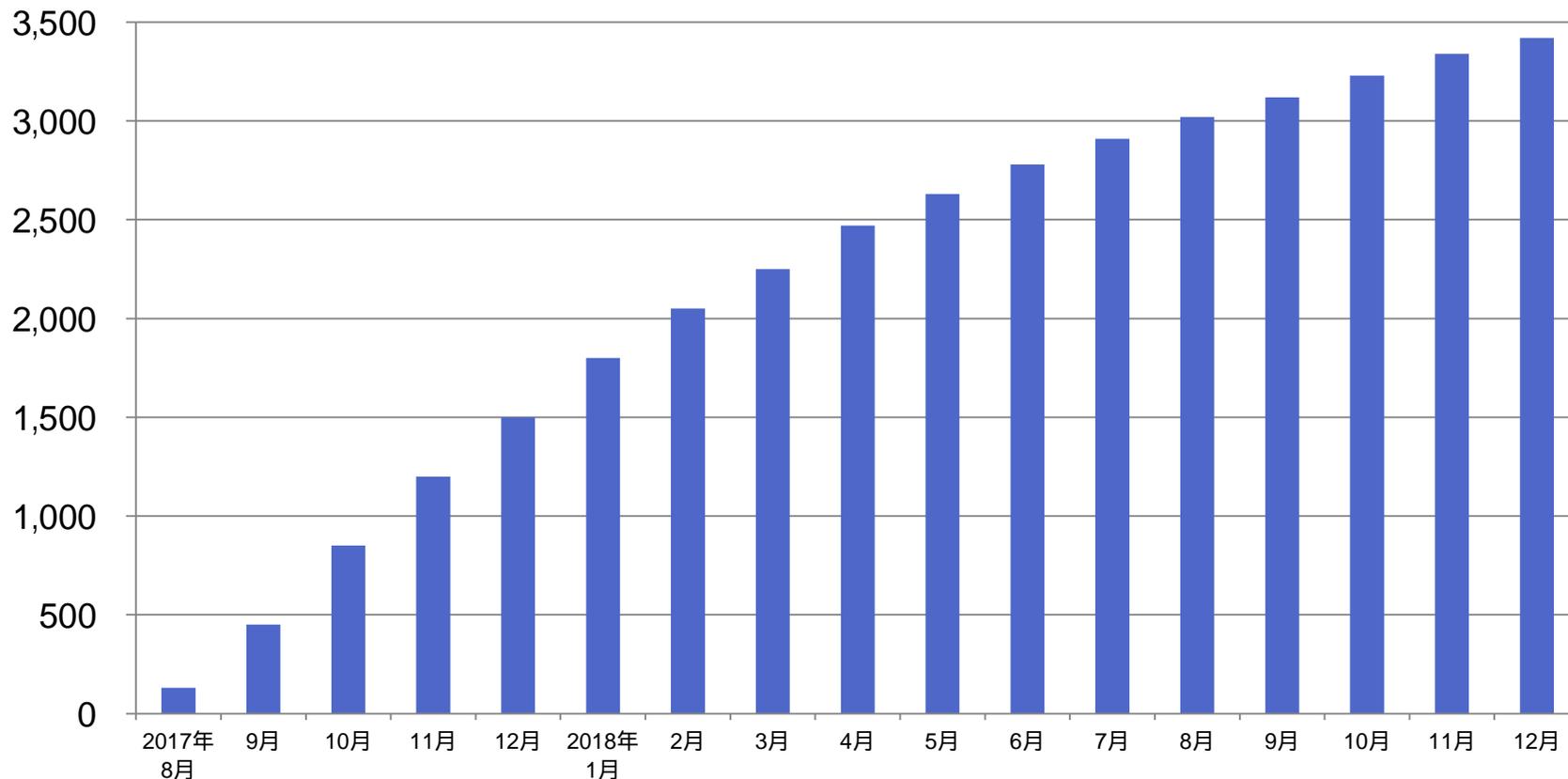
\*2 ノバルティス(スイス)へ導出

# 中計16-20 進捗トピックス

# ラジカヴァ 累計投与患者数推移

人

約3,500人



2018年4月～12月

売上高 206億円

2018年12月末時点

累計投与患者数 約3,500人

継続投与患者数 約1,900人

2018年4月～2019年3月見込み

売上高 270億円程度

## ラジカヴァ 販売活動

3P	これまでの取り組み	2018年度 下期 新たな取り組み
Physician	<ul style="list-style-type: none"> <li>- MR訪問活動の推進</li> <li>- 医療情報提供による理解浸透 多くのALS患者を診療している 専門医に対する集中的な訪問活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 製品価値に関する情報提供 長期投与データや開発経緯の紹介</li> <li>- 新規データ取得への取り組み バイオマーカー試験の立ち上げ</li> </ul>
Patient	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 治療開始のリードタイム短縮</li> <li>- ナースによるサポートの充実</li> <li>- 治療環境の整備 注射センターや在宅投与サービスとの 追加契約による患者さんの利便性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 製品ウェブサイト等へのアクセス向上 デジタルマーケティングの利用</li> <li>- 患者アクセスの向上 「ALS Care Locator」 近隣のALS治療経験のある医師検索 が可能(1月末～)</li> <li>- コペイカード発行による治療費サポート の充実(1月初～)</li> </ul>
Payer	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 治療開始手続きの円滑・迅速化</li> <li>- 臨床データによる製品価値の理解</li> <li>- 臨床データの後解析による製品価値の 理解浸透</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 科学的な臨床上のベネフィットを Payerに紹介</li> <li>- 治療アクセス制限を軽減するための Payer教育 償還コード(Jコード)の取得による保 険審査負担軽減(1月末～)</li> </ul>

## 主な開発パイプラインの進捗状況

### グローバル戦略品

治験コード	適応症(開発段階)	進捗状況
MT-1186	筋萎縮性側索硬化症:ALS (P1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>経口剤と注射剤の生物学同等性試験を2019年度1Qに実施予定。ALS患者を対象とした長期安全性試験を2019年度中に開始予定</li> </ul>
ND0612	パーキンソン病(P2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>P3試験デザインについてFDAと概ね合意。本年夏頃にP3試験開始予定</li> </ul>
MT-2271	季節性インフルエンザの予防(P3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国申請に向けてFDA相談を継続中。高齢者申請の準備とともに、成人申請を準備中。当初計画の2018年度米国申請は遅延</li> <li>カナダ申請に向けたカナダ当局との相談終了。来期1Q申請に向けて準備中</li> </ul>

### グローバル早期品

治験コード	適応症(開発段階)	進捗状況
MT-8554	血管運動神経症状(P2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>P2試験終了。P3試験実施準備中</li> </ul>
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症(P2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>P2試験を米国で実施中。2019年度中に結果取得予定。</li> </ul>
MT-3995	非アルコール性脂肪肝炎(P2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内P2試験結果を2019年度中に取得予定</li> </ul>

# Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

独自の価値を一番乗りでお届けする、  
スピード感のある企業へ



田辺三菱製薬

# 補足資料



## 売上収益の内訳(第3四半期累計)

	2018年度	2017年度	増減		通期予想	進捗率
	第3四半期	第3四半期	億円	%	億円	%
売上収益	3,324	3,393	68	2.0	4,350	76.4
(内、海外売上収益)	960	839	+ 121	+ 14.4	1,302	73.8
国内医療用医薬品	2,292	2,496	203	8.2	2,962	77.4
海外医療用医薬品	419	257	+ 162	+ 62.9	611	68.6
ロイヤリティ収入等	549	595	45	7.7	698	78.7
一般用医薬品	32	31	+ 0	+ 1.7	43	73.7
その他	30	12	+ 18	+ 147.3	33	91.8

※通期予想：2017年度決算発表時（2018年5月9日）公表

## 国内医療用医薬品 重点品等 売上収益

	2018年度	2017年度	増減		通期予想	進捗率
	第3四半期	第3四半期	億円	%	億円	%
レミケード	459	511	52	10.2	555	82.7
シンポニー	287	245	+ 42	+ 17.3	350	82.0
テネリア	111	152	40	26.8	170	65.5
ステラーラ	104	0	+ 103	-	151	69.0
レクサプロ	107	99	+ 8	+ 8.2	131	81.5
カナグル	50	44	+ 6	+ 13.9	76	65.4
ルパフィン	9	6	+ 2	38.3	68	14.0
イムセラ	34	37	3	9.0	49	69.0
カナリア	53	11	+ 42	+ 370.5	32	165.8
重点品合計	1,218	1,109	+ 108	+ 9.8	1,587	76.7
テトラビック	64	66	2	3.0	91	71.0
ミールビック	53	41	+ 11	+ 28.7	55	94.9
水痘ワクチン	39	40	1	3.1	55	71.4
ジェービックV	44	42	+ 1	+ 4.7	43	102.4
インフルエンザワクチン	95	101	6	6.5	112	85.0
ワクチン合計	304	299	+ 5	+ 1.9	365	83.4
重点品・ワクチン合計	1,522	1,408	+ 114	+ 8.1	1,952	78.0

※通期予想：2017年度決算発表時（2018年5月9日）公表

\* 今回よりタリオンを重点品から除外しました

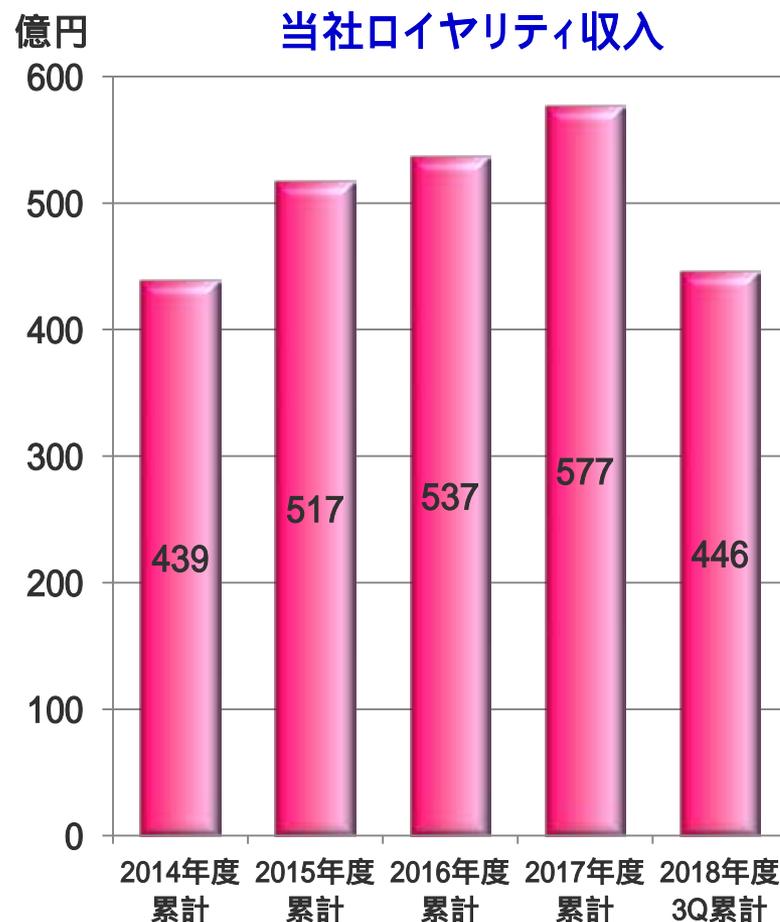


為替(\$)(期中平均)

111.77円

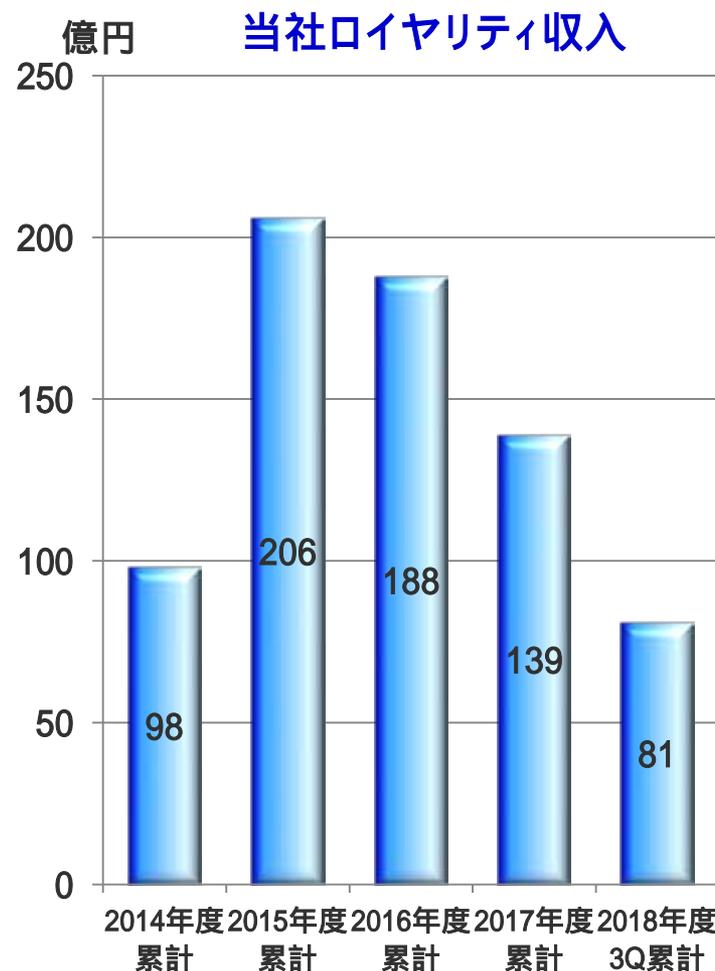
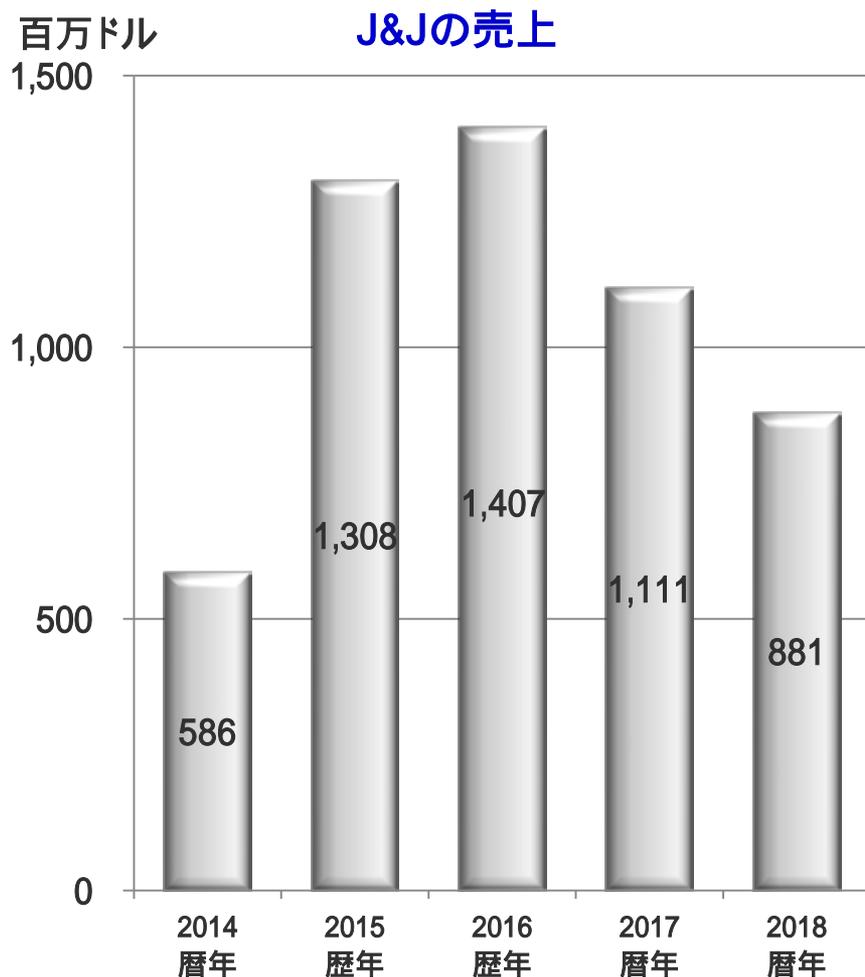
111.33円

- u ノバルティスの2018年4Q(2018年10-12月)売上高は836百万ドル(前年同期 825百万ドル)
- u 当社2018年度3Q(2018年4-12月)のロイヤリティ収入は446億円



# インヴォカナ・インヴォカメット

- U J&Jの2018年4Q(2018年10-12月)売上高は228百万ドル(前年同期 267百万ドル)
- U 当社2018年度3Q(2018年4-12月)のロイヤリティ収入は81億円



## 主な開発パイプラインの進捗状況

### 国内後期開発品

治験コード	適応症 (開発段階)	進捗状況
MT-6548	腎性貧血 (P3)	• P3試験実施中。2019年度に申請予定
MT-5547	変形性関節症 (P2/3)	• 試験デザイン変更後、P2/3試験を継続中
TA-7284	糖尿病性腎症 (P3)	• 計画より前倒しでP3試験を実施中
MT-5199	遅発性ジスキネジア (P2/3)	• 2020年度申請に向けてP2/3試験実施中

# パイプラインの現状

治療対象疾患

:自己免疫疾患 :糖尿病・腎疾患  
:中枢神経系疾患 :ワクチン :その他

2019年2月4日現在

赤字:2018年度第2四半期決算発表以降の進捗

フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認
<p>MT-2990 炎症・自己免疫疾患等</p> <p>MP-124 神経系用剤</p> <p>ND0701 パーキンソン病</p> <p>MT-1186 筋萎縮性側索硬化症: ALS (経口懸濁剤)</p> <p><b>MT-6345 *1</b> <b>神経系用剤</b></p> <p>MT-7529 *2 インフルエンザ[H7N9]の予防</p> <p>MT-5625 *2 ロタウイルス胃腸炎の予防</p> <p>MT-0814 眼科用剤</p> <p>MT-4129 循環器官用剤等</p>	<p>MT-1303 多発性硬化症、乾癬(欧州) クローン病(日本、欧州)</p> <p>MT-7117 赤芽球性プロトポルフィリン症 (米国)</p> <p>MP-513 2型糖尿病(欧州)</p> <p>MT-3995 糖尿病性腎症(日本、欧州) 非アルコール性脂肪性肝炎(日本)</p> <p>MT-8554 糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛 (欧州)</p> <p>更年期に伴う血管運動神経症状 (米国)</p> <p>ND0612 パーキンソン病(米国、欧州)</p> <p>MT-8972 *2 インフルエンザ[H5N1]の予防 (カナダ)</p>	<p>MT-5547 変形性関節症(日本)</p> <p>TA-7284 糖尿病性腎症 (国際共同治験)*3</p> <p>MP-513 2型糖尿病(中国)</p> <p>MT-6548 腎性貧血(日本)</p> <p>MT-5199 遅発性ジスキネジア(日本)</p> <p>MT-2355 5種混合ワクチン(4混+Hib) (日本)*4</p> <p>MT-2271 *2 季節性インフルエンザの予防/ 成人・高齢者 (米国、欧州、カナダ他)</p>	<p><b>アザニン</b> 自己免疫性肝炎(日本)</p> <p>TA-7284 2型糖尿病(インドネシア)</p> <p><b>MP-513</b> <b>2型糖尿病</b> (インドネシア、シンガポール、 タイ、マレーシア)</p> <p>MCI-186 筋萎縮性側索硬化症: ALS (欧州)</p> <p><b>MP-214</b> <b>統合失調症</b>(シンガポール、 タイ、インドネシア)</p> <p><b>TAU-284</b> <b>アレルギー性鼻炎、蕁麻疹(タイ)</b></p>	<p><b>MCI-186</b> <b>筋萎縮性側索硬化症</b> <b>:ALS(スイス)</b></p>

主な導出品 (フェーズ3以降)

フェーズ3	TA-7284 糖尿病性腎症(国際共同治験)*3
	MT-210 統合失調症(米国、欧州)
	MT-4580 副甲状腺がんおよび原発性 副甲状腺機能亢進症における 高カルシウム血症(日本)

承認	FTY720 小児・多発性硬化症(欧州)
	TA-7284 心血管疾患の既往がある2型糖尿病に おける脳・心血管死、非致死性心筋梗 塞及び非致死性脳卒中の複合リスクの 低減(CANVAS/CANVAS-R)(米国)
申請	

\*1: 宇部興産(日)と共同開発  
\*2: メディカゴ(カナダ)品  
\*3: 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント  
\*4: 阪大微生物病研究会(日)と共同開発

## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。